アクティビティ（1997.7～98.6）

7月
＊第15回蒲郡まつり協賛金……50,000円
＊暴力追放蒲郡市民会議会費……10,000円
＊2RYE委員会会費（@2,000×101）……202,000円
＊夏期家族会名古屋ドーム（中日×広島）野球観戦に市内少年野球並びにボーイスカウト同行……200,000円
＊夏期来日ユース（MrCASSEGRAIN BENOIT）受入……12,800円

8月
＊協力金　地区YE委員会活動費……30,300円
＊レオ研修育成費……20,200円
＊第37回アジアフォーラム……101,000円
＊蒲郡市子ども会スポーツ大会協賛金……10,000円

9月
＊2RLC献血・献眼・献腎・骨髄推進事業負担金（上期分）……50,500円
＊夏期来日ユース受入滞在費補助……3,000円

10月
＊薬物乱用防止キャンペーン並びに麻薬・覚醒剤・シンナー等乱用防止県民大会協力金（@200×101）・20,200円
＊第15回六施設合同ふれあい大運動会参加協力……90,000円
（会員51名による労力奉仕）

11月
＊第8回市民文化講演会の開催……1,015,201円
講師　阿部　進氏（教育評論家）
演題「子ども・心と体の病 —親の役割—」
＊蒲郡市主催による市民健康まつり会場において献血・献眼・献腎登録骨髄推進活動を行う……206,957円
献血 157名　献眼登録 138名　成分献血 15名　献腎登録 86名
他に骨髄バンク推進募金……25,005円
＊第3回がまごおり絵てがみ大賞協賛金……50,000円
＊平成9年度赤い羽根共同募金寄付金……12,023円
＊三ケ根ハヤブサを守る会支援金……20,000円

1月
＊蒲郡海洋少年団助成金……50,000円
＊蒲郡ボーイスカウト助成金……50,000円
＊蒲郡ガールスカウト助成金……25,000円
＊LCIF20ドル献金（@20ドル×94）……256,620円

2月
＊LCIF1,000ドル献金（MJF4名）……632,100円
（L井澤敏雄（5回目）、L鈴木敏允（2・3回目）、L松井一由、L吉見敏春）
＊第44回地区年次大会2R合同記念アクト資金（@10,000×90）……900,000円

3月
＊2RLC献血・献眼・献腎・骨髄推進事業負担金（下期分）……49,500円

4月
＊オイスカ海外研修生激励会市民の集い協賛金……50,000円
＊第13回蒲郡俊成祭協賛金……50,000円
＊バレーボール男子世界選手権魚津大会支援金（@200×94）……18,800円

5月
＊（社）蒲郡青年会議所主催による『第13回わんぱく相撲』協賛金……30,000円
＊蒲郡市・蒲郡530運動推進連絡会主催による「'98春のクリーンキャンペーン」に協力（労力奉仕）・・5,350円

6月
＊平成10年度蒲郡エリカ号保存会会費……10,000円
＊平成10年度蒲郡国際交流協会会費……10,000円
＊春の蒲郡クリーンキャンペーン参加飲み物代……5,617円
＊蒲郡市教育委員会へ「薬害ビデオテープ」寄贈……111,510円
＊東海日日新聞創刊50周年記念協賛広告代……20,000円

◆ 特別寄稿 ◆

去勢された亭主に居直り女房、勝手な子供

L 森　桂吾

人は自分の意志とは無関係に生まれてくる。子供が親に生んでくれと頼んで生んでもらったわけではない。夫婦の生物学的欲求の副産物として此の世の中に生を受けてきたわけで、親は生んだ以上子供に対して、育てる義務と責任を持つ事は至極当然の事である。従って子育てを外注に出す（保育所に預けるとか、おばあさんに頼むとかして自分は勤めに出る）と言う事はもってのほかでこれではカッコー鳥と同じである（カッコー鳥は卵をよその鳥の巣に生む、その鳥は、自分の卵と思い自分の卵と一緒に温め孵化し雛に成ると餌もあたえて育てる）人は生まれて4才迄の間に其の人の人間性の八割迄が形成されると言われている。此の一番大事な時期こそ何をさておいても、母親の温かい愛情をそそいでやるべきで、それをしないと情緒不在の欠陥人間とか、人格障害者、或いは多重人格者と言った人間ができて少し大きくなって警察から呼出しをくって「我が子に限って」などとひらき直っても時既に遅しである。

講演内容を箇条書きに書いてみると、

1　親のふり見て我がふり作るのが子供で母親の後姿を見て育つとも言う。
2　子供が生まれて始めて出会う教師は母親である。
3　キツネは4匹、タヌキは6匹、子供の数が少ないと過剰保護になって、強くたくましい大人に成長しない、キツネやタヌキの親は子供に生まれながらにして生存競争の厳しさを体験させる。
4　一家に親父と言うこわい存在がなくてはならない、昔は地震、雷、火事、親父で、地震や雷と肩を並べてベストテンの4位に入っていた。それが今ではニガリのきかない豆腐の様に成り、父親の権威も主体性もなくなり、家族の中から父親の姿が消えている。

此の講演会は入場者こそ少なかったが、大成功であったと思っている。講演会が成功であったか、失敗であったかは入場者の頭数によって判断するのではなく、話の内容と聴衆者が感銘を受けたか、失望感を抱いたかによって決まるものであって、講演中に熱心にメモを取っておった人が大変多く、終って出口の所で「良かったねえ」と賞賛と感銘の声しきりであった。

◆ 特別活動報告 ◆

'97夏期家族会
「ドーム元年野球観戦」

日時　平成9年7月15日(火) 15：00
場所　ナゴヤドーム
担当　計画委員会

今年の夏期家族会は、ナゴヤドームが完成しL吉見敏春クラブ会長の強い要望もあり、早速計画委員会を開催しメンバーの皆さんも快く承諾いただきドーム元年野球観戦で結論が出ました。ところが希望する日程のチケットが手に入らず二転三転する中、L鈴木殖夫の御協力でやっとチケットを手に入れる事が出来ました。早速メンバーの皆さんに出席申し込みの案内を連絡したところ、意外にも出席率が悪く、委員会メンバーも少し気落ちしてしまいました。L松井一夫が、チケットは200枚購入済だから、何とか知恵をしぼって売りさばくしかないとの一声で、L小林弘忠、L壁谷忠憲が関係している、市内野球少年にお願いして参加の呼びかけをして頂き2～3日で71枚のチケットを売りさばいて頂き、チケットのメドが立ちました。計画委員会メンバーの皆さんの御協力に感謝いたします。

当日の試合内容は、ドラゴンズのリズムで進み山崎選手のホームランも飛び出しドラゴンズファンには満足頂いた試合であったと思います。

我々メンバーより少し遅れて到着された飯田赤石ライオンズクラブ小國会長と、マリンライオンズクラブ吉見会長が堅い握手をかわし互いの友情を確認されました。
最後に、メンバーの皆様に心からお礼申し上げ報告と致します。

(L 山田　金弥　記)

六施設合同
ふれあい大運動会に参加

日時　平成9年10月10日(金) 9：30
場所　つつじ寮グランド
担当　社会福祉委員会

我々社会福祉委員会は、今年度の計画(アクティビティ)を考えていたところ、つつじ寮の運動会にボランティア参加したらどうだと言う案が出て来ました。早速つつじ寮の岩瀬寮長さんに相談したところ、是非参加して下さいとの事で決定しました。

秋晴れの下で運動会が出来ればいいなと思い前夜から天候を心配していましたが、当日は正に運動会日和でした。しかし準備が始まるころから不安が出てきました。我々メンバーで競技の器具等を出し入れや配置した経験者がいません、寮生に思う存分競技してもらえるか皆んなで心配しながらのスタートでした。いざ始まると心配など関係無いと言っている様に寮生のハッスルぶり、又あの無邪気ぶりに圧倒されながらの楽しい一日でした。我々も競技(踊り、パン食い競争)に参加させていただき、楽しい汗をかかせてもらい思い出に残る運動会でした。

(L 関原　健一　記)

◆ 特別活動報告 ◆

蒲郡市民健康まつり 四献推進キャンペーン

日時　平成9年11月9日（日）9：00
場所　蒲郡市民体育センター
担当　四献推進委員会

蒲郡市民健康まつりに協賛し、四献推進活動として献血コーナー、献眼、献腎、成分献血の登録を行った。他会員の皆様を始め、御家族、知人、市民の方々多数の協力をいただき有り難く感謝した。献血に関しては、市民の方の関心もあり今回は、400ml献血者が多く目標を達成出来ました。献眼登録者は多数いましたが、献腎登録者の関心が低いように思われます。

①献血活動　献血受付数157名　400ml献血60名　200ml献血53名　合計数113名　残念ながら不適者44名　②四献推進キャンペーン（献眼・献腎の登録）献眼登録者138名　献腎登録者86名　合計数224名　③骨髄バンク推進募金活動　募金額13,445円　献血及び登録者には、ポインセチア鉢花をプレゼントしました。毎年献血コーナー（四献推進キャンペーン）を、当クラブは継続事業としていきたいとおもいます。

（L 尾崎　保久　記）

青少年の薬害に対する啓蒙運動

日時　平成10年6月19日（金）10：00
場所　蒲郡市役所
担当　アイヘルス薬害糖尿病委員会

薬物およびアルコール類の乱用は、世界中の若者の生命と将来を脅かしています。

私達マリンライオンズクラブは、いかにして中学生が薬害に対しての知識を身につけていただき、いかにして薬物の誘惑に抵抗するべきかを、予防的な啓蒙運動の一環として、6月19日　蒲郡市役所におきまして、薬害に対するビデオフィルム21本を教育委員会に贈呈致しました。

（L 鈴木　勝廣　記）

◆ 例会活動報告 ◆

1997年 7 月

第201回例会

日時　平成9年7月15日(火)15：00～21：00
場所　蒲郡商工会議所

夏期家族会

例会に先立ち、前会長L山本孝より新会長L吉見敏春へ、会長バッチ並びにゴングの引継式を行った。

新会長の挨拶より
今年度に力を入れてやりたい事
① 出席率の向上、目標85%に頑張りたいと思います。例会担当委員会で工夫をし、楽しい例会にしたいと思います。
② 委員会の活発化です。今年度は、年3回以上の委員会計画を立て、実行して下さい。
例会後、夏期家族会なごやドーム(中日ドラゴンズ対広島カープ戦)を観戦　会員家族、飯田赤石LC会員、蒲郡スポーツ少年団の参加を得て、充分試合を楽しむことが出来た。

(L 尾崎　保久　記)

第202回例会

日時　平成9年7月25日(金)12：15～13：30
場所　蒲郡市民会館

下期決算及び上期予算並びに来日ユースのスピーチ

会長の挨拶で最近の子供の心と体から逞しさが失われている様に感じますとの話、誠に同感。

夏期来日ユース Mr CASSEGRAN BENOITのスピーチは私が来日して十日になりました。日本の文化はヨーロッパの文化とは大変異なりとても興味深くこれからも多くの事を知ろうと思いますと語ってくれました。尚、通訳はホストファミリーの伊藤成子様でした。

1996-97年度下期収支決算を前会計L夏目憲行が報告、全員拍手で承認。
1997-98年度上期収支予算審議、財務副委員長L市川寛、全員拍手にて承認。

(L 竹尾　喜一郎　記)

名古屋ドーム観戦

フランスより来日ユース

◆例会活動報告◆

1997年8月

第203回例会

日時　平成9年8月8日(金)12：15～13：30
場所　ホテル竹島

スポンサーについての心得

今回のスピーチは、会員委員長　L深津六郎による「スポンサーについての心得」のテーマで行われ、概要は次のようであった。

・マリンライオンズクラブ会員の質的向上を図る必要がある。
・新入会員に対しては、スポンサーが責任を持って指導しなければならない。
・少くとも例会だけは必ず出席する位の責任を果さなければならないが、スポンサーの指導自体に問題があると思われる。
・欠席する場合は必ずメークアップするという認識に欠ける。必ずメークアップすることが必要です。
・名前を呼ぶ時、L○○というのは米国式で、Mr○○というのと同じ。
日本式では○○さんというのと同じで○○ライオンという呼び方でもよい。
・「The Lion」を精読することが、ライオンズについての理解を深める早道である。

(L　近藤　綾子　記)

第204回例会

日時　平成9年8月22日(金)12：15～13：30
場所　ホテル竹島

L 鈴木　殖夫の「LC雑感」

吉見会長が挨拶の中で、国の統計年令の集計方法について見直したらどうかと述べられた。生産年令は15～64才になっているが、進学率が高くなっている現状で、15才～17才は含めるべきでない。又70才以上で活躍している人も多いことから、老人年令も引き上げれば、生産者人口に対する老人人口の割合が少なくなるとのことであった。

スピーチは、元会長のL鈴木殖夫が「ライオンズクラブ雑感」のテーマで話された。

LCに入会して30年になるが、入会時の挨拶で、「人間は一本の弱い葦である」と言った事を記憶されているとのこと。

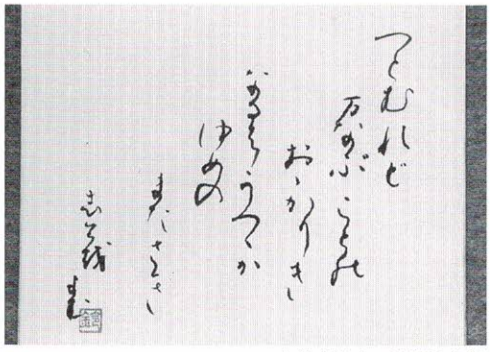
LCで奉仕の精神を養いたいと思われたことやライフワークについて語られた。

結びに「努むれど　学ぶことの多かりき成るは現(うつつ)か、夢の又先」と、最近の心境を和歌で示された。

LCの感想とともに、L鈴木の謙虚で真摯な生き方が感じられたスピーチであった。

(L　近藤　綾子　記)

スピーチするL深津六郎


L鈴木殖夫、直筆の色紙

◆ 例会活動報告 ◆

1997年 9月

第205回例会

日時　平成9年9月12日(金)14：00～15：30
場所　蒲郡市民会館 中ホール

ガバナー公式訪問合同例会

334-A地区2ZのL井澤一義の公式訪問合同例会が当蒲郡マリンライオンズクラブ担当で行われました。

L吉見敏春のゴングにつづき、国歌、クラブの歌斉唱、物故会員、献眼者に黙祷、そして役員、クラブの紹介があり、L吉見敏春の挨拶があった。主旨は、昔の人は柿が実ると真中の実を食べ上の枝は小鳥のために下の枝は旅人のために残しておく、この心づかいはライオンズクラブの精神にも通ずるという話であった。次いで2R・2Z・ZCのL鈴木敏允のガバナー紹介があり。

L井澤ガバナーが挨拶された。
ライオンズが出来て今年で80周年、ライオンズ程すばらしい団体はない、奉仕事業の後の満足感がある。青少年の問題、森林の問題等のお話があり国際協力のスローガンと共に質の良い会員の増強を計っていきたいと述べられた。

(L 石田　敬二　記)

第206回例会

日時　平成9年9月26日(金)12：15～13：30
場所　蒲郡市民会館

出席率の向上について

会長L吉見敏春より三河港にヤリイカが沢山いて料理方法もいろいろあり、おいしくいただける紹介の話があった。

本日のスピーカーはL森　桂吾、最近のマリンクラブの出席率の低下を憂いて、会員の質的向上と出席率の向上について話された。主旨としてはスポンサーが新入会員に対して会員としての心得を丁め良く説明をしておく必要があり、そのための入会マニュアルが必要と、その内容の説明があった。そして入会後はスポンサーが新入会員を導きもっと目をかけ、欠席の場合はもっと出席できるようにサポートしなければならないと、スピーチされた。

(L 石田　敬二　記)

334-A地区ガバナー L井澤一義

スピーカー L森　桂吾

◆ 例会活動報告 ◆

1997年 10月

第207回例会

日時　平成9年10月3日(金)17：30～18：10
場所　形原温泉　鈴岡

RC・ZCのクラブ訪問
蒲郡LCとの合同例会

蒲郡LC会長L今泉泰伸の歓迎のことばに続いて、2RRC、L三島久夫があいさつに立ち、ガバナー方針として、①未来に心の奉仕②ウイサーブ③会員の増強④アイヘルス運動など基本的考えを各単一クラブで掘り下げてほしいとの要望があった。次いで、ZC、L鈴木敏允のあいさつでは私共の役目はガバナーの運営方針の伝達が役目ですとのお言葉があった。

合同例会の後で、18：15より懇親会に入り蒲郡マリンLC会長L吉見敏春のウイサーブで開宴、和気あいあい且つ盛大にとり行われた。

(L 小田　倉平　記)

第208回例会

日時　平成9年10月10日(金)11：45～13：30
場所　つつじ寮

第15回福祉施設
ふれあい運動会

午前9：30より、つつじ寮生他と一緒に運動会を楽しんだ後、つつじ寮、寮長岩瀬昌訓氏より現在職員の方が25名、その他にボランティアの方々が日に70～80名来て清掃、介護の奉仕をしていると聞きました。

又、身体障害者は市内に約130名おり現在は多少ですが減少傾向にあるとの事。最後に皆様方にお手伝いをしていただきありがたく思います。と大変喜んでおられました。

(L 小田　倉平　記)

ZC挨拶 L鈴木敏允

ふれあい運動会

◆ 例会活動報告 ◆

1997年 11月

第209回例会

日時　平成9年11月14日(金)12：15～13：30
場所　蒲郡市民会館

地球環境保全は「自然との共生」から

会長L吉見敏春挨拶、続いて「全国愛鳥教育研究会副会長、渥美守久氏」によるテーマ、周辺の環境を見つめて「自然との共生」についての講演に入る。

講演要旨は次のとおり。地球環境を守ることは、地元の環境を守っていくことが大きく地球環境を守ることになります。2年前に三ケ根山でスピードの空の王様であるハヤブサを発見しました。ハヤブサは自然環境が保全され、エサがあること、巣を作る岩があることが生きる条件です。三ケ根山がちょうどこの条件に合っていました。この三ケ根山の環境を守ることがハヤブサの生きることでありました。我々人間が生活していける条件と思います。

(L 志賀　英夫　記)

第210回例会

日時　平成9年11月22日(土)12：15～13：30
場所　蒲郡市民会館

第8回文化講演会実施

例会に続いて、教育評論家阿部 進氏による第8回文化講演会を実施する。

例会は会長L吉見敏春の挨拶、幹事報告を実施した。例会終了後文化講演会は次のとおり実施した。聴講者は市内外の小・中学生の父兄及び一般の市民の方々の多数の参加があった。鈴木克昌市長の来賓挨拶に続いて、阿部 進氏の講演に入った。講演要旨は次のとおり。

人の性格は生れながらのものが7割、成長する過程で形成されるものが3割となっています。また、性格は顔の形で、まるい形、長い形、四角い形などそれぞれ特徴がみられます。最後に糖尿病から自然塩のよさを紹介されました。

(L 志賀　英夫　記)

ハヤブサの保護を熱弁する渥美守久氏

講師　阿部　進氏

◆例会活動報告◆

1997年 12月

第211回例会

日時　平成9年12月12日(金)12：15～13：30
場所　蒲郡市民会館

歴史自然から学ぶ21世紀 地域社会の在り方

会長L吉見敏春の挨拶、寒くなって参りました。今年は暗いニュースが多かった。金融関係の不安も広がり、拓殖、山一も破綻した。来年は英知と勇気と努力が必要だ。

つづいて鈴木哲夫氏による自然環境のスピーチがあった。

詩吟を嗜むうちに自然に興味を持ち始め調べていくうちに人間にとって水と酸素が最も大切だという、基本を皆忘れていることに気がついた。清田の楠の木は、明治以前は楠の木の樹海であった。楠や椎の木は酸素と水蒸気を最も多く出す樹木であり、現在椎の木はあちこちで枯れ始めています。そして人体にも気管支、肺の病気をもたらしてしまいます。山の自然も道路の乱開発で樹木を痛め、更に廃棄物まで持ち込まれてしまっています。神戸の震災は海や山の開発、地下水の汲み上げ等の人災が更に被害を大きくした。町には緑地ベルトを作り緑を守らなければならないと思われますと語られた。

(L 伴　捷文　記)

歴史と自然を語る鈴木哲夫氏

第212回例会

日時　平成9年12月23日(火)17：30～20：30
場所　蒲郡プリンスホテル

クリスマス家族会

会長L吉見敏春に代って副会長L河井勤が挨拶。来年10周年の会長としてのリハーサルの挨拶でした。銀婚式を迎えた四組の方々への祝福、又L河井が今年還暦を迎え諸行事をこなしていく内に得た教訓を一つ披露された。それは大正時代の久原房之助という政治家を例にとり、人間は益々、仕事にも趣味にも燃えていなければならない。一生は二度とない、その時を失わず、その時を逃がさず盛年でなければならないと話されました。

また、幹事報告では内規改訂の報告がされた。

例会終了後のクリスマス家族会は208名が参加し、蒲郡フィルハーモニー楽団のすばらしい演奏があり、ビンゴゲームもあり楽しい一夜でした。

(L 伴　捷文　記)

計画委員会のメンバー

◆ 例会活動報告 ◆

1998年 1月

第213回例会

日時　平成10年1月9日(金)12：15～13：30
場所　蒲郡市民会館

鈴木市長が市政について熱弁

L吉見敏春の会長挨拶、皆さん明けましておめでとうございます。今年こそはてごろな目標を決めて努力し、年末に後悔しない様にしたいと思っております。平成になりまして10年目となりますが、昨年は国の内外で歴史に残るような出来事が相次いだ年だと思います。平成10年の幕明けも非常に厳しいスタートとなりました。メンバーの皆さん方におかれましても前半はかなり厳しいと思いますので、褌の紐をしっかりともう一度絞め直していただき、城を守ってほしいと思います。

蒲郡市長のスピーチ「市政について」市長の将来の方針、4年間のまとめ。現況について。蒲郡海洋情報センターについて。以上の事について熱弁されました。

(L 関原　健一　記)

第214回例会

日時　平成10年1月23日(金)12：15～13：30
場所　蒲郡市民会館

上期の決算報告 下期の予算審議

L吉見敏春の会長挨拶、大寒に入り寒さも大変厳しくなってまいりました。先日、法を守護すべき本山の警視庁警部が情報提供による収賄の事件がありました。それも数年間に20数回にわたって賄賂を受け取ったと言われています。どこにも不心得はいますが周囲の目もありますし、まして犯罪捜査の本家が数年間連続収賄などは考えられません。蓮は地を這う性質ですが麻の中に生えると、自然に麻の枝葉にそって真直に伸びるそうです。環境が人を造る、悪人も正義も善の組織にいればその感化を受ける。それが自然の理だと思いますが、今回の事件は最低の事であると思います。

・上期の決算報告、引き続き監査報告
　全員拍手で承認
・下期の予算案報告　全員拍手で承認

(L 関原　健一　記)

年頭の所信を述べる鈴木市長

10周年、事業方針を語る L鈴木靖夫

◆例会活動報告◆

1998年2月

第215回例会

日時　平成10年2月13日(金)12：15～13：30
場所　蒲郡市民会館

今後おこりうる東海地方の地震についてを聞く

飯田赤石LC会長L小國英彦他3名のビジターを迎えて会長の挨拶で例会が始まった。冬期オリンピックが始まり日本は早くも金メダル2個と銀メダル1個を獲得し特にスピードスケート500mの清水選手には感動したとの話。

ゲストスピーカー鳳来寺自然科学博物館長横山良哲氏の今後おこりうる東海地方の地震についての演題で、この地方の断層、地質、地震についての講演を聞く。

講師の話では、この蒲郡も三河地震から50年以上経っており、地震のエネルギーも大分たまっており、いつ地震があっても不思議ではないそうです。又、偶然飯田の方がおられますが飯田はもっと危険な時にきているそうです。

(L　竹尾　喜一郎　記)

第216回例会

日時　平成10年2月27日(金)12：15～13：30
場所　蒲郡市民会館

創立例会

会長挨拶　L　吉見敏春

本日は創立例会です。平成元年2月28日に、出雲殿にて結成式が挙行されてから9年に成ります。過ぎ去ってみると、アッと言う間でした。「光陰矢の如く才月人を待たず」とは、よく言ったものです。又過去の歴史を見つめないと現在も、未来も見えない。こんな意味合いからも、一年に一度創立例会を開いて、誕生を祝い、過去を振り返って見る事は、大変意義深い事と思います。本日は、みなさんのお手元に配布された入会マニュアルと、一部会則の変更について、なにか質問ございませんか。

年男の方々によるスピーチ「今年の抱負」
昭和13年生　L味岡　正　L中瀬充二

何事にもチャレンジする、とら年の抱負とは、守るべきは守る。みがくべきはみがく。(人間関係をみがく。自分自身をみがく)

(L　尾崎　保久　記)

地震について語る横山良哲氏

L中瀬充二

L味岡　正

◆ 例会活動報告 ◆

1998年 3月

第217回例会

日時　平成10年3月13日(金) 12：15～13：30
場所　蒲郡市民会館

あなたの善意を骨髄バンクに

プロ野球のオープン戦も熱が入って参りました。サッカークジは参議院で審議されていますが未成年者のギャンブルの問題もある様です。飯田赤石ライオンズクラブが、潮干狩りに見えますので皆さんも参加して下さい。うさぎ島の島あさりです。

続いて、四献のL加藤寿則のスピーチがありました。姫街道の宇利トンネルの左から上った正宗寺に、献腎献眼の供養塔があり、そこへ6名で墓参りに行き,掃除や花供えをして、住職さんの読経、又ボランティアのおばあさんのご詠歌、その後で豊橋中ライオンズクラブの高柳氏のお話を聞き、「四献の精神」を学び又、マリンLCの会員の方々に四献の難しさと必要性が大切と話しがありました。

(L 徳永　由也　記)

第218回例会

日時　平成10年3月27日(金) 12：15～13：30
場所　蒲郡市民会館

穂の国森づくり

L吉見敏春会長挨拶、お彼岸もすぎて、春眠暁を覚えず、と云われる季節になりました。年度末で皆さんお忙しい事と存じます。
さて、寿し屋へ参りますと、大きな湯のみ茶碗が来まして、魚ヘンの文字が沢山書いてあります。新聞記事ではカタカナで書いてあるのが殆ですが、漢字の方が味があると思います。例えば鯖(サバ)鰯(イワシ)。春となってアマゴ釣りのシーズンになってまいりました。

次いでスピーチ、講師は穂の国森づくり代表幹事、三谷町出身、今井設計事務所の今井正樹氏です。

地球の環境問題が皆さんの関心の高まりを集めて来ています、東三河の自然は豊川(とよがわ)で成りたっています。その奥三河の森林を守らなければなりません、上流の人達と下流の人達が相互に理解し協力をしなければなりません。これが穂の国森づくりの基本的考えであります。

(L 徳永　由也　記)

四献について L加藤寿則

スピーチする今井正樹氏

◆例会活動報告◆

1998年4月

第219回例会

日時　平成10年4月10日(日)12：15～13：30
場所　蒲郡市民会館

薬害について

今回のゲストスピーカーは、蒲郡警察署署長の小田秀一氏。
「薬害について」のテーマで、アジアでは300万人という人々がポリオや破傷風で死んでいる現実を話され、それも日本円でわずか3円のワクチンが足りないためと聞き驚きました。薬害については、近年、低年齢化の傾向にあるとの事、親として真剣に考えさせられました。

モナーク・シェブロンの贈呈、メルビン・ジョーンズ・フェローズ盾の贈呈などがありました。

(L 吉見　重夫　記)

第220回例会

日時　平成10年4月24日(金)12：15～13：30
場所　蒲郡市民会館

池の水質浄化

今回のゲストスピーカーは、亀山市まちづくり推進会議の桑名憲一氏。
「池の水質浄化に挑む」というテーマで、平成9年4月より多種多様な有用微生物を含む微生物資材「EM」を使用しての、池の水質浄化活動の体験談をスライドを交じえての説明あり、そして半年後には、透明度、COD,T-N等が大幅に改善された事の発表がありました。

この「EM」による池の水質浄化は、我らクラブの創立10周年記念事業の一つでもありますので、会員一同興味深く熱心に聞きました。

(L 吉見　重夫　記)

薬害について語る蒲郡警察署長 小田秀一氏

池の浄化に挑む桑名憲一氏

◆例会活動報告◆

1998年 5月

第221回例会

日時　平成10年5月10日(日)15：20
場所　豊橋勤労福祉会館 大ホール

334-A地区年次大会

第44回地区年次大会が、本年度のキヤビネットが豊橋であるので式典は豊橋勤労福祉会館、祝宴はホリディ・インで行われました。ガバナーL井澤一義の挨拶と年次報告は、次の様でした。

本日は、ライオンズクラブ内外より、多くの来賓の方々をお迎えし、107クラブの皆さんと一同に会することができ、心から嬉しく思います。"友情と愛の奉仕で輝く未来"のスローガンの下に、すばらしい数々のアクトを遂行され心より御礼申し上げます。労力奉仕は828件、金銭奉仕は3940件、6億2400万円でした。この不況の中、本当にありがとうございました。LCIFでは1億9300万円の拠出金ができました。献腎献眼もして頂きました。アイヘルスも今年から始めて頂きました。最後に次年度、国際理事候補者L竹内淳一をよろしくお願い申し上げます。

(L 伴　捷文　記)

第222回例会

日時　平成10年5月22日(金)12：15～13：30
場所　蒲郡市民会館

穂の国森づくり

会長L吉見敏春の挨拶。今日は気温も31℃にもなるということで、汗ばむ程です。今年も皆さんのお力添えで、後わずかになって参りました。今、夏に向けて魚のおいしい時です。夕市は近海の小魚が沢山とれて、ピチピチのとれたての魚が鮮度の大変いい時に、食べられるので、本当においしいものです。次にゲストスピーカー中部大学教授、足立義則氏のお話。

気の科学、病は気から、気は心の病気です。病気は未然に防ぎたいものです。ストレスからくる病気も、人によって心臓病になったり、肝臓にきたりいろいろ違いがでてきます。心の病を治すには、人の事をあまり気にせず、自分を大切にすることと思います。

次にCN10周年記念大会委員長、L鈴木靖夫より、事業内容、予算等の説明がありました。

(L 伴　捷文　記)

年次大会風景

気の科学を話す 足立義則氏

◆例会活動報告◆

1998年6月

第223回例会

日時　平成10年6月12日(金)12：15～13：30
場所　蒲郡市民会館

YE活動

第2副会長 L小田昭男の自己紹介を取り混ぜたユニークでかつ親しみのある明るくさわやかな挨拶で例会会場の雰囲気を盛り上げていただいた後、永年、YE活動に関わってこられました、L平野 優の「YEとは」という題目でスピーチをいただきました。

「YEのYとは(ユース)、Eとは(エクスチェンジ)であり青少年の交換を通してのライオニズムの一つのアクティビティであります。

奉仕内容は、冬季、夏季の派遣、受入れであります。

YEはとても重要であり末長く行なってもらいたいと思います。」

L平野 優の話の中にYE活動は、気を入れなければそのまま過ぎてしまい、気を入れてやろうとすると数限りない奥深い奉仕であるとの言葉が印象的でありました。

(L 飛田 芳邦 記)

YE活動の苦労話を語る L平野 優

第224回例会

日時　平成10年6月26日(金)18：00～21：00
場所　ホテル竹島

新旧役員歓送迎会

本年度最後の例会は4月に新装オープンしましたホテル竹島で新旧役員歓送迎会を兼ねて行われました。

会長L吉見敏春の自分の心は梅雨空と違い五月晴れのルンルンであるとのあいさつで始まり、幹事L夏目憲行、会計L近藤洸光、2ZZC L鈴木敏允、2ZZCA L井澤敏雄の一年間の協力のお礼のあいさつがあり最後を締めました。

引き続き次期役員を代表して、次期会長L河井勤のあいさつがあり来年度の決意と抱負が述べられました。

歓送迎会は、次期会長 L河井 勤のウイサーブで始まり、和気あいあいのうちに会は進みました。

(L 飛田 芳邦 記)

新旧役員歓送迎会風景

◆ 趣味部会活動報告 ◆

〈MLG部会〉

ゴルフに魅了され、ゴルフを愛する仲間との一年

前部会長L松井より大役を引き継ぎ7月の額田でのコンペで一年のスタートをさせていただきました。合同コンペ2回を含み合計10回のコンペを開催いたしました。あくまで飛びを追及される方、何よりもスコア（にぎり）を重視される方、健康の為に参加することに意義を感じると言う方、様々の部会員の皆様のご支援とご協力で無事に1年を終える事が出来ました、心より感謝致します。約500年前に単なる牧童の石遊びから始まったといわれるゴルフ、この単純で難解なスポーツに魅了されてきた、ゴルフを愛する皆様がますますその虜となり、より多くの方が参加して下さる部会として発展して行くことを願います。一年間サポートして下さいました役員の皆様ありがとうございました。心よりお礼申し上げます。

（L 小林　弘忠　記）

〈カルチャークラブ〉

家族も一緒に!!

「カルチャークラブってなんだ」。よく聞かれる質問です。改まって聞かれるとこちらが戸惑ってしまいます。“文化”というのが訳語なんで、何か難しそうです。でも、私たちの回りには昔からの祭りやら、お寺やら、食べ物やら、文化でいっぱいです。

カルチャークラブはちょっと足を延ばして、身の回りに有るそんな文化を楽しもうという会だと考えています。もう一つの特徴は部会員の連れ合いや家族にも一緒に参加してもらうということです。

今年度は10月始め、豊丘村のまつたけ観光でまつたけ料理を食べ、元善光寺にお参りに行きました。会員8名、家族7名の参加でした。会員が急用で家族のみで参加した方もおりました。気の向いた時に誘い合って出かける気楽な部会です。どうぞご入会下さい。

（L 小田　二郎　記）

◆ 趣味部会活動報告 ◆

〈つり部会〉

自然環境の変化が一番分る釣りクラブ!!

20年程前の作手村、稲武町、津具村、東栄町などの各渓流はヤマメの宝庫でした。
雨の日などシマミミズで、30分の間に28匹も釣れた事も有りました。

水はきれいで、絶える事のない渓流は、釣師にとって、まさに天国でした。

いまはどうでしょう。生活汚水、酸性雨、森や林の荒廃の為に、又釣師の乱獲の為に天然のヤマメは殆ど姿を消し、鮎は養殖放流が主力で釣りになりません。

一方海では、河川の栄養豊富な水が流れ込む為、プランクトンが異常発生し、赤潮の為に稚魚が絶滅したり、突如の酸欠の為に青潮が発生して、大きな魚までも死に追いやっています。

それでも尚、川や海に釣り人を引きつける魅力はいっぱいです。

自然は偉大です。環境の変化に対応し、或る種の魚、山菜を沢山提供してくれます。森林浴、オゾンを一杯吸って長生きしましょう。

(L 鈴木　正己　記)

〈麻雀クラブ〉

楽しい麻雀クラブ

麻雀クラブでは和気藹々の中、友情をもって、楽しく行っています。

麻雀競技の中では意外というか当然というか、キツネとタヌキのだましあいであります。

又、雀風もあり、性格もあり、四人のコミニュケーションのやりとりもおもしろく、ホメたりケナしたり、相手の心理を探ったり、自分の手の布石を敷いたり、言葉にも含畜があり、楽しいものであります。麻雀をする人も結構大勢いると思われます。是非又、麻雀クラブへ入会して下さい。

(L 尾崎　勝美　記)

◆ 趣味部会活動報告 ◆

〈放談部会〉

皆んなで楽しく

“皆んなで楽しく”これが我が放談部会のねらい。幼稚園児か小学生のモットーのようですが、このご時世ではなかなか難しいようです。ざっくばらんに“放談”が出来、互いの人間味で付き合うというのは、まず良い仲間に出会えなくてはなりません。それもいいタイミングで、いい場を得ない事にはどうにもなりません。良い仲間が沢山いる我々マリンライオンズにあっても、本当に胸襟を開いて話し合える機会はなかなか持てません。

かしこまった例会だけに出席していたのでは無理でしょう。趣味部会はその間隙を縫っての気楽な場。皆さんに大いに楽しんでもらいたい。研修したり、修業したりという難しい会合は皆さんも沢山お持ちでしょうから、もっぱら気楽な会の開催を心掛けました。歩調を合わせていただいて、ご出席くださった部会の皆さん、有り難う御座いました。

（L 鈴木　孟　記）

一年間の行事内容

7月	オイスカ海外研修生と花火観賞会（蒲郡市民会館）
8月	年間行事予定の検討（蒲郡商工会議所）
9月	ディナーパーティーと観月茶会（蒲郡プリンスホテル）
10月	三谷祭り見学と昼食会（ふきぬき観光ホテル）
11月	石和温泉・昇仙峡　一泊旅行（ホテルふじ）
12月	忘年会（マルナカ）
1月	新年会（かに源）
2月	「名刀の魅力」L.岡田光男（蒲郡商工会議所）
3月	とこなめ焼き散歩道と陶芸教室（とこなめ焼卸団地）
4月	観桜会（喜八）
5月	「明日の蒲郡」L竹内　健（蒲郡商工会議所）
6月	一年の反省会